

2023年度 第29回FDフォーラム

対面 オンライン開催

2024.

2

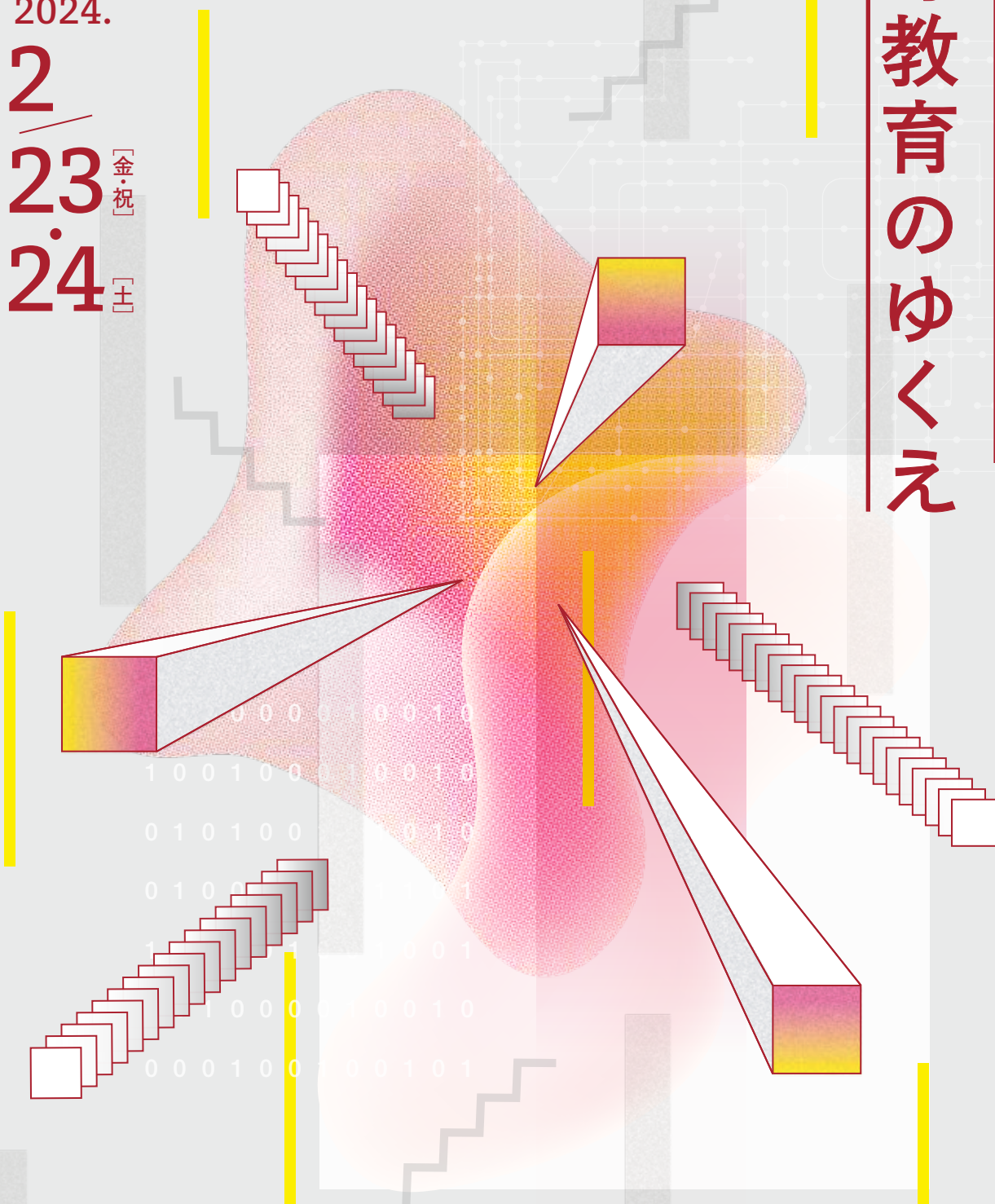
23

〔金・祝〕

24

〔土〕

DX・AI時代の 高等教育のゆくえ



申込期間

大学コンソーシアム京都加盟大学・短期大学の方

1/5〔金〕10:00－1/27〔土〕17:00

加盟大学以外の方

1/12〔金〕10:00－1/27〔土〕17:00

主催：



大学コンソーシアム京都
公益財団法人 The Consortium of Universities in Kyoto

後援：文部科学省・京都府・京都市

DX・AI時代の高等教育のゆくえ

コロナ禍が一定収束を見せる中、2023年度の当初からChatGPTに代表される高度な生成AIが多方面で話題となりました。7月13日には文部科学省が「大学・高専における生成AIの教学面の取扱いについて」と題した文書で、生成AIが主体的な学びの補助・支援に有効と想定される例と合わせて成績評価やセキュリティ面などの留意点を示しました。

一方で高等教育における新たなツールの積極的な利活用は、コロナ禍でのオンライン授業の導入により、多岐にわたる経験を有しています。そうした中、4月12日の「令和5年度東京大学学部入学式」における総長式辞では、第26回FDフォーラムのシンポジウム「大学の教育・研究・社会貢献に新しいモデルは生まれうるか？」にて取り上げた『ROBOT-PROOF：AI時代の大学教育』（ジョセフ・E・アウン著）が引用され、改めて「創造性を育む基盤として経験学習」が重要と述べられました。

そこで第29回FDフォーラムのテーマは「DX・AI時代の高等教育のゆくえ」といたしました。生成AIを効果的に利活用する時代、何よりコロナ禍でのオンライン授業の展開をはじめとしたDXの経験への学び直しが重要、という問題提起です。

今回は幅広いトピックと多様なスタイルで迫ります。シンポジウムと12の分科会およびポスターセッションへのご参加を通じて、コロナ禍を経た高等教育の本質が熟考され、今後のよりよい態勢づくりに向けた学び直しの機会となることを願っています。

(立命館大学 共通教育推進機構 教授)

第29回FDフォーラム企画検討委員会 委員長 山口洋典

【スケジュール】

日程	時間	内容	掲載ページ
2/23(金・祝)	10:00~12:00	第1・2・3・4分科会	P.3
	14:00~16:00	シンポジウム 「学びの連続体へのまなざし～生成系AIへの耐性・代替不可能性を求めて～」	P.2
	16:30~18:00	ポスターセッション ※情報(名刺)交換会 ～18:30	※ポスターセッション、情報(名刺)交換会は同会場で行います(申込不要)
2/24(土)	10:00~12:00	第5・6・7・8分科会	P.4
	14:00~16:00	第9・10・11・12分科会	P.5

- ・ポスターセッション、第9分科会は、対面のみで開催します。
- ・第6・8・12分科会は、オンライン(Zoom)のみで開催します。
- ・その他の分科会は、対面(キャンパスプラザ京都)もしくはオンライン(Zoom)で開催します。

■ポスターセッション

- 大学コンソーシアム京都加盟校の教職員・学生が実施する特色ある教育に関する取り組みを発表します。発表者(大学等)は当日お知らせします。
- ・情報(名刺)交換会は、ポスターセッションと同会場で行います。情報収集や、参加者間の交流の場としてご利用ください。

【参加要件・注意事項等】

第29回FDフォーラムは、シンポジウムと12の分科会を対面もしくはオンライン(Zoom)で実施いたします。ポスターセッションは、対面での開催となります。

■参加要件について

- 本フォーラムに、オンラインで参加される方は、Zoomを使用いたします。オンラインでの参加を希望される方で、Zoomがご使用になれない方は、参加いただけませんので、ご注意ください。
- 情報端末(PC推奨)は、参加者ご自身でご準備いただき、安定したインターネット通信環境より、ご参加ください。
- Zoomアプリケーションのインストールを推奨します。ウェブブラウザからの接続も可能ですが、機能が制限される場合があります。また、既にインストールされている方は、最新のバージョンにアップデートくださいますようお願いいたします。
- 参加者の機材・環境等のトラブルは、事務局では対応いたしかねます。
- 参加者の通信環境やアプリケーション等の不具合により、ご視聴いただけない場合は、大学コンソーシアム京都では責任を負いかねます。

■録画について

- 一部の分科会を除いて記録用に録画しますが、オンデマンド配信はいたしません。

■参加方法等について

- お申し込みいただいた方には、プログラムごとに特設WEBサイトをご案内します。
- 事前公開資料は、特設WEBサイトよりダウンロードいただけます。
※各プログラムの事前公開資料は、そのプログラムの申込者にのみ公開いたしますので、他者への転送・共有はお控えください。
厳守をお願いいたします。

【対面参加の方】

- 会場参加の方は、申し込み後に送信いたします「参加に関するご案内」のメールを確認の上、キャンパスプラザ京都までお越しください。

【オンライン参加の方】

- 当日は、特設WEBサイトよりZoomへご入室ください。
- 対面との併用開催の分科会では、原則視聴での参加となります。質問等の受付方法は、各分科会の紹介ページでご確認ください。

【キャンパスプラザ京都にてオンライン参加される方】

- キャンパスプラザ京都でオンライン視聴される方用の教室を用意しています。視聴にあたっては、ヘッドホン(イヤホン)などの利用をお願いします。
※ヘッドホン(イヤホン)などは、各自でご準備ください。



対 面：230名 (加盟校優先定員：140名)
オンライン：1000名 (加盟校優先定員：600名)



対面



オンライン (Zoom ウェビナー)



講義形式

学びの連続体へのまなざし～生成系 AI への耐性・代替不可能性を求めて～

教える (Teaching) から学ぶ (learning) へのパラダイム転換を指摘した Barr と Tagg による論文が公開された1995年、大学コンソーシアム京都では東京大学出版会による『知の技法』を手がかりに第1回のFDフォーラムを開催した。あれから約30年、生成系AIの台頭により、改めて学びの場のあり方への問い直しが必要とされている。短期大学と四年制大学、初等教育・中等教育から高等教育へ、さらには教養教育と専門教育、学部と大学院、大学と地域など、学びのコミュニティにおけるいくつかの連続体に関心を向け、生成系AIと共生という観点でのAI耐性を携えつつ、AIでは代替不可能な学びの場の担い手像に迫る。

シンポジスト



今村 正治 氏 佐賀女子短期大学 学長

▶ 経歴

1958年大阪市生まれ。1981年立命館大学文学部卒業後、学校法人立命館職員入職。財務部長 (2007年)、総務部長 (2008年) を経て、2009年には学校法人立命館総合企画部長に。2014年より2019年まで立命館アジア太平洋大学副学長・学校法人立命館常務理事を務め、定年退職。2019年には学園経営コンサルタントとして今村食堂株式会社を設立し、株式会社ほぼ日、札幌慈恵学園・札幌新陽高校などでアドバイザーを担う。2022年より学校法人旭学園理事・佐賀女子短期大学学長。佐賀県で3つ目の四年制大学「武雄アジア大学 (仮称)」の2026年開設に向けて準備にあたる。

▶ 主な活動、著書

公益財団法人 AFS 日本協会理事、兵庫県公立大学法人評価委員、公益社団法人日本サードセクター経営者協会理事、京都橘大学政策アドバイザー、別府市総合政策アドバイザーなど、幅広い分野で活動。「立命館アジア太平洋大学：本格的な国際大学の誕生」(『大学行政論II』東信堂、2006年) や「多文化共生の「寮」をデザインする：APハウスの未来」(大学時報357号、2014年) など著書・論文の他、対談・インタビュー・コラム・ラジオ出演は多岐にわたる。



上田 紀行 氏 東京工業大学 副学長

▶ 経歴

1958年東京都生まれ。専門は文化人類学。「癒し」の研究、日本型システムの変容、仏教の現代的展開など、現代社会の諸問題を幅広く扱い、テレビ、新聞等でも提言を行う。1989年に東京大学大学院総合文化研究科博士課程を単位取得退学、その後愛媛大学助教授を経て、1996年に東京工業大学大学院社会理工学研究科価値システム専攻准教授に着任し、2012年にはリベラルアーツセンター教授に。2016年4月より2022年3月までリベラルアーツ研究教育院長を務めた後、2022年4月より東京工業大学副学長として文理共創戦略を担当する。

▶ 主な活動、著書

東京工業大学では教育改革に深く関わり、2016年に新設されたリベラルアーツ研究教育院の初代院長として、新時代のリベラルアーツ教育を切りひらく中心を担っている。2008年に岡山大学大学院医歯薬学総合研究科博士課程にて博士 (医学) の学位を取得。著書に池上彰・伊藤亜紗との共著による『とがったリーダーを育てる：東工大「リベラルアーツ教育」10年の軌跡』(2021年) の他、『がんばれ仏教！—お寺ルネサンスの時代』(日本放送出版会)、『生きる意味』(岩波書店)、『かけがえのない人間』(講談社現代新書) の他、『覚醒のネットワーク』(河出文庫)、『スリランカの悪魔祓い』(講談社文庫)、『「自殺社会」から「生き心地の良い社会」へ』(講談社文庫)、『ダライ・ラマとの対話』(講談社文庫) など、多岐にわたる。



堀江 未来 氏 立命館大学 グローバル教養学部 教授 / 立命館小学校 校長

▶ 経歴

1970年愛知県生まれ。専門は国際比較開発教育。名古屋大学教育学部在学中に、交換留学生として中国・南京大学へ留学。その後、名古屋大学教育学研究科で修士、アメリカ・ミネソタ大学大学院で博士の学位 (教育学) を取得。南山大学国際教育センター、名古屋大学留学生センターなどでの留学生相談指導・海外派遣留学支援担当を経て、2009年に立命館大学国際教育推進機構准教授に着任、2017年に教授。2017年からは立命館大学の附属校の校長 (2017年度～2020年度：立命館小学校・中学校・高等学校、2021年度～：立命館小学校) を務め、「Interculturalist-Principal (異文化感受性を育てる校長)」として、あらゆる発達段階にある児童生徒学生の成長に寄与できるよう努めている。2023年度より立命館大学グローバル教養学部教授。

▶ 主な活動、著書

共編著として『多文化間共修：多様な文化背景をもつ大学生の学び合いを支援する』(学文社) の他、訳書として『無名大学を優良大学にする力：ある大学の変革物語』(ジョージ・ケラー著、学文社) がある。また、英語開講科目 (EMI) の教育実践の経験に基づき、英語を母語としない学生のための教員研修について『English-Medium Instruction in Japanese Higher Education Policy, Challenges and Outcomes』(Annette Bradford・Howard Brown編、Multilingual Matters) で紹介している他、『大学生のための教室英語表現300』及び『大学教員のための教室英語表現300』(いずれも共著、アルク) など。

コーディネーター



山口 洋典 氏 立命館大学 共通教育推進機構 教授

▶ 経歴

1975年静岡県磐田市生まれ。専門は社会心理学、特にグループ・ダイナミクス。ネットワーク型まちづくり、災害復興、サービス・ラーニングなどをテーマにアクションリサーチを展開する。財団法人大学コンソーシアム京都事務局研究主幹、浄土宗應典院主幹、同志社大学院総合政策科学研究科助教授・准教授を経て、2011年度より立命館大学共通教育推進機構准教授、2020年度より現職。

▶ 主な活動、著書

2019年度・2020年度には立命館 SDGs 推進本部事務局長。2022年度より立命館大学教養教育センター副センター長と立命館大学サービスラーニングセンターを兼務。著書に『ソーシャル・イノベーションが拓く世界』(法律文化社、共著) 『はじめてのファシリテーション』(昭和堂、共著) など。

第1分科会



定員

対面：80名(加盟校優先定員：50名)
オンライン：270名(加盟校優先定員：160名)

対面



オンライン (Zoom ミーティング)



講義形式

オンライン参加補足

オンライン参加者からの質問はチャットを利用して受け付けます。

身構えないで学べる
授業環境の構築を目指して

学生の主体的対話的学習が重視され、グループワークやグループディスカッションを取り入れた授業カリキュラムが組まれている。このような学習の支援は大変難しい。アイスブレイクをしても、学生同士の交流が思うほど深まらず学生同士の作業もうまく進まない。講義等もAIの影響を受ける時代となったが、大学教職員のこういった役割は当面なくなりそうにはない。本分科会では、学生の心理的安全性という視点からのご研究、学生ファシリテーター養成のための取組みについて、最後に学生からアイスブレイクの必要性をそれぞれご教示いただき、身構えないで学べる授業環境をいかに構築するかみなさんと議論したい。

▶ コーディネーター

右近 潤一氏 京都先端科学大学 経済経営学部 教授

▶ 報告者

山田 剛史氏 関西大学 教育推進部 副部長・教授

大島 和美氏 京都産業大学 教育支援研究開発センター F工房 嘱託職員

稲本 拓真氏、山脇 莉子氏、筒井 志俊氏 京都文教大学 学生

第2分科会



定員

対面：80名(加盟校優先定員：50名)
オンライン：270名(加盟校優先定員：160名)

対面



オンライン (Zoom ミーティング)



講義形式

オンライン参加補足

登壇者と参加者との議論は対面を主とし、Zoomチャット等を用いてオンライン参加者からの質問やコメントを取り上げます。

大学教育の起爆剤?! アカデミック DX

コロナ禍を経てオンライン授業やオンデマンド教材は身近な存在となり、デジタルトランスフォーメーション (DX) という言葉も広く耳に浸透してきている。しかしながら、この変革はどこに、どのように到来しているのか。多くの大学教職員にとって、DXを具体的に目にする機会は少なく、やや抽象的なイメージを耳にする機会の方が多くないだろうか。そこで本分科会では、DXの取り組み事例を抑えつつ、DXによって(言葉通り)変革した大学教育の事例について共有し、議論を深めていく。本分科会は、3人の先生にご登壇いただき、広く大学教育におけるDX(アカデミックDX)の状況と事例を報告いただき、その後の質疑応答を経て、参加者全員での議論を行う。

▶ コーディネーター

多田 泰紘氏 京都橋大学 経営学部 専任講師

▶ 報告者

村上 正行氏 大阪大学 全学教育推進機構 教育学習支援部 教授

重田 勝介氏 北海道大学 情報基盤センター 教授

森村 吉貴氏 京都大学 情報環境機構 准教授

第3分科会



定員

対面：140名(加盟校優先定員：80名)
オンライン：270名(加盟校優先定員：160名)

対面



オンライン (Zoom ミーティング)



講義形式

オンライン参加補足

対面でご参加の方々からのご質問にお答えします。Zoomでご参加の方は視聴のみとなります。

大学教育における AI の活用
ならびにその弊害

現在、第三次人工知能ブームといわれ、ついに一般の方にもAIの活用機会が広がってきている。教育現場への浸透も他ではなく、学ぶ側にも学ばせる側にもその恩恵は計り知れない。一方で、メリットばかりではなく様々なデメリットが指摘されているのも現状である。そこで本分科会では、ChatGPTをはじめとしたAIの仕組みやできること、できないこと、対面講義やオンライン講義などでのAIの活用事例、教育支援や今後の大学教育、身につけるべき技量などを3名の先生方にご講演いただきます。その後、3名の先生方にはパネルになっていただき、対面でご参加の方々からのご質問にお答えする形で議論を深めたい。

▶ コーディネーター

土屋 誠司氏 同志社大学 理工学部 教授

▶ 報告者

鈴木 基之氏 大阪工業大学 情報科学部 教授

松本 和幸氏 徳島大学 理工学研究部 准教授

榎原 絵里奈氏 立命館大学 情報理工学部 講師

第4分科会



定員

対面：24名(加盟校優先定員：14名)
オンライン：270名(加盟校優先定員：160名)

対面



オンライン (Zoom ミーティング)



講義形式

オンライン参加補足

オンラインの方の質疑応答はチャットで受け付けます。必要に応じて、コーディネーターから質問者に対し、補足説明の発言をいただきます。

大学における自校教育の効果と課題

現在、多くの大学では、初年次教育の一環として自校教育・「建学の理念」科目が実施されているが、学生からすると、あまり興味のある分野でない場合も多く、その授業運営においては困難を伴うことがある。ただ、各大学の「建学の理念」を具現化し、教育目標を達成していくためには、これらの授業で成果を上げていくことが重要なのではないだろうか。そこで本分科会では、「大学における自校教育の効果と課題」をテーマとして、3人のパネリストに登壇していただき、研究成果及び実際の事例報告をお願いした。そこから、実際に授業運営していく上で、どのような点に気をつけなければならないのか、困難な点をどのように解決していくのかということを考えていきたい。

▶ コーディネーター

坪井 剛氏 佛光大学 仏教学部 准教授

▶ 報告者

喜村 仁詞氏 岡山県立大学 保健福祉学部現代福祉学科 准教授

元根 朋美氏 帝塚山大学 全学教育開発センター 准教授

大谷 由香氏 龍谷大学 文学部仏教学科 特任准教授

第5分科会

定員 対 面：80名(加盟校優先定員：50名)
オンライン：270名(加盟校優先定員：160名)

対面 オンライン (Zoom ミーティング) 講義形式
オンライン参加補足 質問については、Google フォームで受け付けます。

ことばの教育はいかに変わる "べき" か

いわゆる生成AI技術の進化に伴い、いま高等教育では従来の教育手法や価値観が見直され、新たな教育のあり方を模索する必要性が高まっている。高等教育におけることばの教育は、コミュニケーション能力を高めつつも異なる文化を理解できるグローバルな人材を育成する上で必要不可欠である。その一方で、生成AI技術の普及により、言語学習のアプローチや教育メソッドが変化し、従来の授業体系とは異なる形での学びも可能となっている。このような文脈の中で、本分科会では2名の専門家にご登壇いただき、高等教育の現状を振り返りつつ、今後のことばの教育や留学生支援の展開(何が変わるのか、いかに変わるのか)について、参加者とともにより理解を深めながら、未来のことばの教育の方向性を模索していきたい。

▶ コーディネーター

住田 哲郎氏 京都精華大学 共通教育機構 准教授

▶ 報告者

山中 司氏 立命館大学 生命科学部 教授

牛窪 隆太氏 東洋大学 国際教育センター 准教授

第6分科会

定員 オンライン：270名(加盟校優先定員：160名)

オンライン (Zoom ミーティング) 講義形式
オンライン参加補足 質疑応答時間を設け、登壇者と参加者が意見交換する時間を設けます。

「ケア」に直面する学生を支えるために

コロナ禍でエッセンシャルワーカーへ着目が集まったが、私たちの暮らしには「ケア」は不可欠なものである。学生本人の学びの場では、障がいのある学生や学生生活に悩みを抱える学生へのケアが求められる。また、学生の中には家族や他者のケアを担う役割として生活し、大学生活上の困難に直面する者もいる。大学は教育機関として学生の学習を指導する役割を担うが、今日では、本来的な役割である教育指導を進めるためにも、学内の教職員との連携の中で「ケア」を必要としていたり、「ケア」の担い手として奮闘する学生を指導していくと同時に、学外の関係機関と協力をしながら学生のサポートを展開する必要がある。本分科会では「大学生とケア」に焦点を当て、学生が「ケア」についてどのような問題に直面しているのか、また、大学は学生と「ケア」について、どのように取り組む必要があるのか、考えていきたい。

▶ コーディネーター

中野 加奈子氏 大谷大学 社会学部 准教授

▶ 報告者

田中 智子氏 佛教大学 社会福祉学部 教授

河西 優氏 立命館大学 衣笠総合研究機構人間科学研究所 補助研究員
/Young Carers Action Research Project 発起人

鈴木 美佳子氏 大谷大学 学生支援部 学生支援課(保健室)
/障がい学生支援チーム(横断型) チームリーダー

第7分科会

定員 対 面：140名(加盟校優先定員：80名)
オンライン：270名(加盟校優先定員：160名)

対面 オンライン (Zoom ミーティング) 講義形式
オンライン参加補足 オンライン参加者からの質疑受け付けは、基本的にはチャットで考えています。必要に応じて、音声での発言も可能にしたいと考えています。

大学授業でICTでALしよう！

大学教育においても様々な場面でInformation and Communication Technology(情報通信技術、ICT)の活用が推奨されている。また、大学の授業におけるアクティブラーニング(AL)の導入も推奨されている。本分科会では、京都の大学から文系科目と理系科目のそれぞれの分野の授業におけるICTのALへの活用事例を紹介して、参加者のみなさまにとって有益になるような情報を提供したい。さらに、質疑応答や総合討論などを通して、活用法の進展や今後の可能性についても議論する。本分科会に参加した後に、試しに一度活用してみようと思えるような分科会にしたい。対面での参加者も、ノートPCなどを持ってきていただき、実際にいろいろと試してもらいたい。

▶ コーディネーター

白鳥 秀卓氏 京都産業大学 生命科学部 教授
/教育支援研究開発センター 副センター長

▶ 報告者

伊藤 慎一郎氏 京都産業大学 情報理工学部 准教授

平井 重行氏 京都産業大学 情報理工学部 教授

長澤 直子氏 京都先端科学大学 経済経営学部 講師

第8分科会

定員 オンライン：270名(加盟校優先定員：160名)

オンライン (Zoom ミーティング) 講義形式
オンライン参加補足 Google フォームで意見を受け付けます。Google フォーム上の質問を読み上げる形で進めます。なお、Zoom で指名して音声で発言を求める場合もあります。

生成AIと人類の未来：
技術、教育、魂、共存の可能性

生成AI技術が急速に進化し、それに伴う影響や哲学的な問いが多数生まれている。特に教育分野では生成AIとの付き合いかたが大きな課題となっている。この分科会では、生成AIの存在とその意味について深く掘り下げ、多角的な視点からの議論を行う。単に技術的な側面からではなく、人類の文化、社会、哲学、未来、教育におけるAIの位置付けについて議論したい。本分科会は、ただの講演会ではなく、積極的なディスカッションや質疑応答の時間も設けており、参加者には、自らの意見や疑問も積極的に投げかけていただきたい。先進的なテクノロジーが我々の社会へもたらす影響に関して真摯に向き合いたい方の参加を心より期待する。

▶ コーディネーター

川田 隆雄氏 同志社女子大学 学芸学部 教授

▶ 報告者

浅田 稔氏 大阪国際工科専門職大学 副学長

水上 拓哉氏 特定国立研究開発法人理化学研究所 革新知能統合研究センター
特別研究員

金子 雄太氏 同志社女子大学 現代社会学部 社会システム学科 助教

第9分科会



定員 対面：30名(加盟校優先定員：18名)



対面



グループワーク形式

授業評価アンケートの
自由記述の自動分類とその応用

現在多くの大学で授業評価アンケートが実施されているが、自由記述のデータはどのように分析すれば良いのだろうか。本分科会では、登壇者より「授業評価アンケートの自由記述を自動分類するためのWebシステム」を紹介いただく。このシステムを用いれば、各自由記述に、その内容に対応した60数種類のカテゴリが付与される。参加者には、ご自身の自由記述データを用意いただき、システムを使っての分析を体験していただく。その後、参加者間で情報共有し、授業評価アンケートの更なる活用方法について模索したい。

※本分科会はハンズオン形式で行われますので、【ノートパソコン】と【分析したい授業評価アンケートの自由記述データ】をご持参ください。自由記述に紐付いた属性情報(例：自由記述が書かれた科目の科目群、自由記述を書いた学生の成績など)があれば、属性ごとの記述内容の違いの分析も体験できます。なお、全学のデータをお持ちでない方は、ご自身が担当する授業の自由記述データでもご参加いただけます。

▶ コーディネーター

根岸 千悠氏 京都外国語大学 共通教育機構 講師

▶ 報告者

松河 秀哉氏 東北大学 高度教養教育・学生支援機構 講師

第10分科会

対面：32名(加盟校優先定員：20名)
オンライン：270名(加盟校優先定員：160名)

対面



オンライン (Zoomミーティング)



グループワーク形式

オンライン参加補足

オンライン参加者はグループワークを行いません。質問がある場合は、フォーム(当日、URLを提示)に入力頂き、グループワーク後に行う全体討論で紹介いたします。

どうします？
これからのキャリア教育と就職支援

ここ数年、キャリア教育や就職活動を取り巻く状況は変化が著しい。例えば、三省合意によるインターンシップ等の類型化、就職活動および就職支援のオンライン化、「ガクチカ」のネタづくりが目的化する学生の増加など、枚挙にいとまがない。本分科会はコロナ禍を経た現在におけるキャリア教育の取組みおよび就職支援の現状を共有することを目的とする。就職活動の動向や各大学の事例を紹介しながら、これからのキャリア教育および就職支援のあり方を未来志向で検討したい。

▶ コーディネーター

中西 勝彦氏 京都文教大学 総合社会学部 助教

▶ 報告者

松高 政氏 京都産業大学 経営学部 准教授

岡本 鈴佳氏 株式会社マイナビ 就職情報事業本部 就職ナビ統括本部
関西ブロック 京都キャリアサポート1課 課長

代崎 拓也氏 京都文教大学・京都文教短期大学 就職部就職進路課 係長

第11分科会

対面：140名(加盟校優先定員：80名)
オンライン：270名(加盟校優先定員：160名)

対面



オンライン (Zoomミーティング)



講義形式

オンライン参加補足

質問などはチャットにて受け付けます。

学習指導要領が変わると
大学教育も変わる？

「子どもたちが自分で未来を切りひらいていけるように、生きていくための資質・能力を育んでいく」ことを重視した新学習指導要領を履修した学生の大学入学がもう目前に迫っている。「探究活動・言語活動・情報活用能力の育成」を重視した探究型学習を経験した学生に対する大学での教育はどうするのか、どうすべきなのか。少子化がすすむ現代社会での大学の生き残り戦略として“特色のある大学教育の実践”が求められる昨今ではあるが、新学習指導要領を受けて大学教育を変革する必要はあるのか、ないのか。必要であるなら、どのような視点での改革が求められるのか。昨年度の分科会に引き続きとなるが、新学習指導要領を履修した学生の大学教育を理系と文系の双方向より考えたい。

▶ コーディネーター

石原 慶一氏 京都薬科大学 病態生化学分野 准教授

▶ 報告者

西岡 加名恵氏 京都大学 大学院教育学研究科 教授

谷口 和成氏 京都教育大学 教育学部 理学科 教授

宮野 公樹氏 京都大学 学際融合教育研究推進センター 准教授

第12分科会

対面：32名(加盟校優先定員：20名)
オンライン：270名(加盟校優先定員：160名)

オンライン (Zoomミーティング)



講義形式

オンライン参加補足

参加者からの質問はZoomのチャット機能を用い、必要に応じて音声で発言してもらいます。

“人・AI 新世”の時代の学びとその支援

人の脳とAI(人工知能)が深く融合する時代(=“人・AI新世”)を迎えつつある中、高等教育機関における「教育」は、「学習者それぞれの学びへの支援」の体系へと自らを根源的に再構築していく必要に迫られようとしている。それは、例えば「単位制度」に象徴される現行カリキュラム構築原理への問い直し、キャンパスや教室の設計理念の再発見などへと展開していくことになるであろう。AIはその中で、学習者個々の「学習成果の可視化」を支えるツール/環境として重要な位置を占めることになると思われる。本分科会ではこのような問題意識に基づき、向こう5年程度の時間軸の中で、高等教育機関における「学習」と「その支援」、そして「ツール/環境」のあり方を考えたい。

▶ コーディネーター

築地 達郎氏 龍谷大学 社会学部 准教授

▶ 報告者

已波 弘佳氏 関西学院大学 副学長 情報化推進機構 機構長
AI活用人材育成プログラムプロジェクト統括 工学部 情報工学課程 教授澁川 幸加氏 中央大学 文学部教育学専攻 特任助教
中央大学 教育力研究開発機構 研究員玉木 和将氏 米インストラクチュア社(Canvas LMS供給元)
Channel Account Manager APAC Japan

[お申し込みについて]

申込期間

大学コンソーシアム京都に加盟する大学・短期大学の方を対象に、先行申込期間を設けています。
先行申込期間中は、優先定員までの受付となります。

加盟大学・短期大学の方	2024/1/5 (金) 10:00 ~ 1/27 (土) 17:00
上記以外の方	2024/1/12 (金) 10:00 ~ 1/27 (土) 17:00

参加されるにあたり、障がい等により配慮が必要な場合には、1月27日(土)17時までにFDフォーラム事務局までご連絡ください。

申込方法

事前WEB申込

お申込みはこちらから ▶

 <https://www.consortium.or.jp/project/fd/forum>



- 本フォーラムは事前申込制となっております。申込期間外およびフォーラム当日の参加申込受付は行っておりません。
- シンポジウム・分科会は事前申込制です。お申込み後の参加プログラムの変更はできません。
- 複数のシンポジウム・分科会にお申込みいただけますが、開催時間が重なっているプログラムにはお申込みいただけません。

STEP1 WEBからのお申込み(先着順)

大学コンソーシアム京都 WEB ページよりお申込みください。

STEP2 申込完了メールの受信

申込手続き完了後、申込者に「申込完了メール」をお送りいたします。
※翌日になっても「申込完了メール」が届かない場合は、お問い合わせください。

STEP3 参加費のお支払い

【参加費支払期限：2024年2月3日(土)】

申込手続き完了後、WEBサイト等をご確認の上、期限までに参加費をお支払いください。
※支払方法は、クレジット決済・コンビニ決済・口座振込よりお選びいただけます。

STEP4 「事前公開資料・Zoom入室方法ご案内」または「参加に関するご案内」メールの受信

参加費の支払手続きが完了した方へのみ、2月10日(土)以降、参加者欄記載のメールアドレスに以下をお送りいたします。
特設WEBサイトへのログイン方法をお送りいたします。
特設WEBサイトより事前公開資料をダウンロードいただけます。

- オンライン参加の方
当日のZoom入室方法につきましては特設WEBサイトにてご案内いたします。
- 会場参加の方
当日の参加に関するご案内をお送りいたします。

STEP5 Zoomからの参加または来場(当日)

- オンライン参加の方
当日、特設WEBサイトからアクセスいただき、Zoomからご参加ください。
- 会場参加の方
当日、直接会場(キャンパスプラザ京都)にお越しいただき、ご参加ください。
※キャンパスプラザ京都では、視聴用の教室を設けています。

参加費について

所属	区分	参加費
加盟 大学・短期大学	教職員	1,000円
	学生(大学院生含)	無料
非加盟 大学・短期大学 その他団体・企業等	教職員・一般	4,000円
	学生(大学院生含)	無料

- 開催中止の場合を除いては、理由の如何にかかわらず、参加費の払い戻しはいたしかねます。
- 申込手続き完了後は、申込内容の変更はできませんので、ご注意ください。
- 支払期限は、2024年2月3日(土)です。期日までに支払手続きが完了しない場合は、参加の意思が無いものと判断し、申込を無効とします。
- 所属・区分等の入力不備により、参加費を多く支払われても、返金できませんので、十分にご注意ください。
なお、参加費が不足している場合は、追って不足分を請求させていただきます。

[スケジュール]

2/23 (金・祝)	10:00~ 12:00	第1分科会	身構えないで学べる授業環境の構築を目指して	対面	オンライン	P.3
		第2分科会	大学教育の起爆剤?! アカデミックDX	対面	オンライン	P.3
		第3分科会	大学教育におけるAIの活用ならびにその弊害	対面	オンライン	P.3
		第4分科会	大学における自校教育の効果と課題	対面	オンライン	P.3
	14:00~ 16:00	シンポジウム	学びの連続体へのまなざし ～生成系AIへの耐性・代替可能性を求めて～	対面	オンライン	P.2
	16:30~ 18:00	ポスターセッション ※ 情報(名刺)交換会 ~ 18:30 (予約不要)			対面	
2/24 (土)	10:00~ 12:00	第5分科会	ことばの教育はいかに変わる"べき"か	対面	オンライン	P.4
		第6分科会	「ケア」に直面する学生を支えるために		オンライン	P.4
		第7分科会	大学授業でICTでALしよう!	対面	オンライン	P.4
		第8分科会	生成AIと人類の未来: 技術、教育、魂、共存の可能性		オンライン	P.4
	14:00~ 16:00	第9分科会	授業評価アンケートの自由記述の自動分類とその応用	対面		P.5
		第10分科会	どうします? これからのキャリア教育と就職支援	対面	オンライン	P.5
		第11分科会	学習指導要領が変わると大学教育も変わる?	対面	オンライン	P.5
		第12分科会	“人・AI新世”の時代の学びとその支援		オンライン	P.5

ポスターセッション、第9分科会は、対面のみで開催します。

第6・8・12分科会は、オンライン (Zoom) のみで開催します。

その他の分科会は、対面 (キャンパスプラザ京都) もしくはオンライン (Zoom) で開催します。

キャンパスプラザ京都では、視聴するための教室を設けています。

[第29回FDフォーラム企画検討委員会]

山口 洋典	立命館大学 共通教育推進機構 教授
築地 達郎	龍谷大学 社会学部 准教授
石原 慶一	京都薬科大学 病態生化学分野 准教授
右近 潤一	京都先端科学大学 経済経営学部 教授
川田 隆雄	同志社女子大学 学芸学部 教授
白鳥 秀卓	京都産業大学 生命科学部 教授/教育支援研究開発センター副センター長
住田 哲郎	京都精華大学 共通教育機構 准教授

委員長 副委員長

多田 泰紘	京都橋大学 経営学部 専任講師
土屋 誠司	同志社大学 理工学部 教授
坪井 剛	佛教大学 仏教学部 准教授
中西 勝彦	京都文教大学 総合社会学部 助教
中野 加奈子	大谷大学 社会学部 准教授
根岸 千悠	京都外国語大学 共通教育機構 講師

[お問い合わせ先]



公益財団法人 大学コンソーシアム京都
The Consortium of Universities in Kyoto
教育開発事業部 FDフォーラム事務局

〒600-8216
京都市下京区西洞院通塩小路下る キャンパスプラザ京都内
☎ 075-353-9163 ☎ 075-353-9101
✉ fdf@consortium.or.jp
窓口受付時間: 火曜～土曜 9:00～17:00 (年末年始を除く)